

2023年9月24日実施

令和5年度(第69回)  
情報処理検定試験  
〈ビジネス情報部門〉  
第1級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

## 【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. システムを独立性の高い機能ごとに分割し、設計、プログラミング、テストという工程を繰り返し、らせん状に徐々に開発範囲を広げながら、完成へと向かう開発手法。
2. 複数のハードディスクに分散して記録することで、読み込みや書き込み速度を向上させる技術。複数のハードディスクのうち、1台でも障害が発生すると、すべてのデータの使用ができなくなるため、1台のハードディスクに記録するより、信頼性は低下する。
3. ネットワーク通信において、受信したデータに含まれるIPアドレスやポート番号などを検査し、データ通過の可否を判定するセキュリティ機能。
4. データを暗号化する際、暗号化と復号に同一の鍵を使用する方式。
5. データベースにおいて、複数の処理が排他制御をおこない、お互いにロックの解除待ち状態になり、処理が進行しない状態。

## 解答群

- |                |           |                |
|----------------|-----------|----------------|
| ア. チェックポイント    | イ. 共有ロック  | ウ. 共通鍵暗号方式     |
| エ. パケットフィルタリング | オ. デッドロック | カ. プロトタイピングモデル |
| キ. ミラーリング      | ク. スループット | ケ. 公開鍵暗号方式     |
| コ. スパイラルモデル    | サ. Cookie | シ. ストライピング     |

## 【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. フォールトアボイダンス      2. グローバルIPアドレス      3. 保守性  
4. ロールバック      5. HTTP

## &lt;B群&gt;

- ア. データベースのトランザクション実行中に障害が発生した際、ジャーナルファイルを用いてトランザクション実行前の状態に戻す処理。
- イ. システムを構築する際、構成する個々の部品の品質を高めたり、従業員の研修を徹底したりするなど、障害の原因を極力取り除き、障害がおきないようにする考え方。
- ウ. インターネット上のサーバに保存された電子メールを、ブラウザを用いて端末にダウンロードすることなく、閲覧や操作を行うことができるプロトコル。
- エ. RASISの示す指標の一つで、システムが要求された機能を継続して実行できることを表したもの。稼働率が用いられる。
- オ. データベースを保存しているハードディスクなどで障害が発生した際、データベースをバックアップ時の状態に復旧させた後、ジャーナルファイルを用いて、障害発生前の状態に戻す処理。
- カ. インターネットに接続するコンピュータやルータなどに、一意に割り振られているIPアドレス。
- キ. Webサーバとブラウザとの間で、HTMLデータや画像などのデータを送受信する際に使用されるプロトコル。
- ク. システムを構築する際、装置や部品などで障害が発生することを考慮し、障害が発生しても安全な方向にシステムを動作させようとする考え方。
- ケ. RASISの示す指標の一つで、障害復旧のしやすさやメンテナンスのしやすさなどを表したもの。平均修復時間が用いられる。
- コ. コンピュータやプリンタなどに、ネットワーク管理者が任意に割り振ることができるIPアドレス。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 個人や組織に及ぼす悪影響や被害、危険などに対して、予想損失や発生確率などを分析し、損失の発生を最小限に抑えようとする活動。

ア. ソーシャルエンジニアリング    イ. インシデント    ウ. リスクマネジメント

2. 斬新なアイデアや多くの意見などを集めたい場合に用いる集団発想法。「批判禁止」、「自由奔放」、「質より量」、「便乗歓迎」という四つのルールがある。

ア. PPM分析    イ. ブレインストーミング    ウ. KJ法

3. インターネット上で、情報システムの稼働に必要なハードウェアやネットワークの基盤などを提供するサービス。

ア. IaaS    イ. SaaS    ウ. ASP

4. 160Mbpsの通信回線を使用して480MBのデータを転送した際にかかった時間が48秒であった。この通信回線の伝送効率を求めなさい。なお、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、1MB=10<sup>6</sup>Bとする。

ア. 6.25%    イ. 50.0%    ウ. 62.5%

5. イメージスキャナで写真を読み込み、圧縮せずに保存したところ、記憶容量が21.6MBであった。写真のサイズは、縦10.0cm、横12.5cmであり、24ビットカラーを指定している。画像を読み込んだ際の解像度(dpi)を求めなさい。ただし、1MB=10<sup>6</sup>Bとし、1インチ=2.5cmとする。

## 【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. Zグラフの説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 商品を重視する項目や指標に沿って優先順位を付け、重要度によって、商品群をA, B, Cに分類し、売れ筋商品の把握や商品の入れ替えの検討など、効率的な商品管理を実現するために用いられる。
- イ. 各月の売上高、売上高の累計額、移動合計の三つの要素を折れ線グラフとして表現する。長期間の売上推移を、視覚的にとらえることができるため、発注数や在庫数の検討などに用いられる。
- ウ. 企業の販売や生産において、複数の制約条件のなかで、費用を最小に抑えるためや、利益を最大に得るためなど、最適な解を求めるために用いられる。

問2. 次のようにネットワークの設定がされているコンピュータAと、同じネットワークグループとなるIPアドレスとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

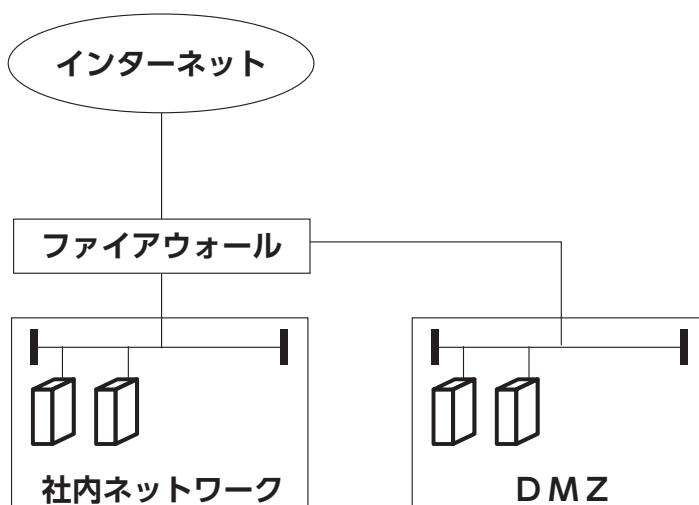
コンピュータAのネットワーク設定

IPアドレス : 192.168.8.1

サブネットマスク : 255.255.255.0

- ア. 192.168.8.8
- イ. 192.168.12.124
- ウ. 172.16.7.2

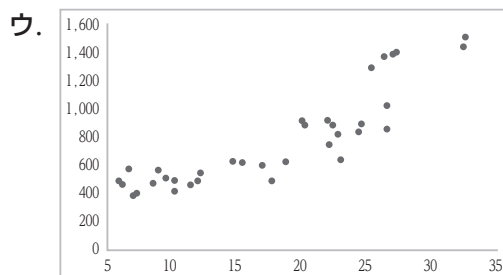
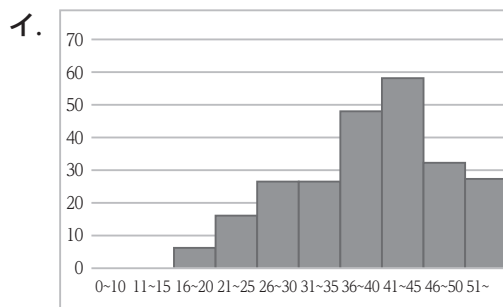
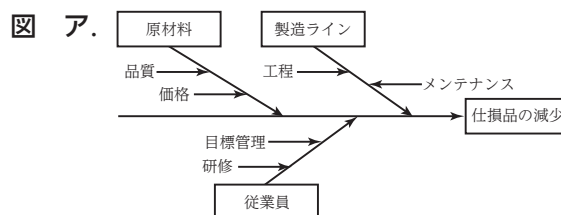
問3. 次の図でWebサーバとDNSサーバを設置する場所として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、Webサイトで、自社の情報をインターネットに公開し、外部からの不正なアクセスを制御できる場所に設置する。また、DNSサーバは、インターネット公開用としてのみ使用する。なお、ファイアウォールは、インターネットから社内ネットワークへのアクセスは許可しない。



- ア. WebサーバをDMZに設置し、DNSサーバを社内ネットワークに設置する。
- イ. WebサーバとDNSサーバを社内ネットワークに設置する。
- ウ. WebサーバとDNSサーバをDMZに設置する。

問4. 課題や結果に対して、影響を与えている原因を整理して体系的にまとめ、課題や結果に対してどのような原因が関連しているかを明確にするために用いる魚の骨のような形態をしている図の名称と、図として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- 名称 ア. ヒストグラム  
 イ. 散布図  
 ウ. 特性要因図



問5. CRMを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 企業が既存の組織や業務、ルールなどを抜本的に見直し、組織全体を再構築すること。業務の効率や生産性の向上、コスト削減などを旨とする。
- イ. 企業が持つ資金、設備、情報などの経営資源を有効に活用するため、組織全体で一元的に管理するしくみ。非効率な部分を排除したり、業務の連携を図ったりするなど、効率的な経営活動を目指す。
- ウ. 企業が顧客と良好な関係を築くことを目的に、顧客情報を組織全体で一元的に管理すること。共有されたデータを営業戦略に活用し、きめ細かい対応を行う体制を整え、顧客満足度の向上を目指す。

- 【5】 ある運動公園では、施設の貸し出し状況を次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

### 処理の流れ

- ① 新規の利用希望者の登録を受け付けると、利用者表にデータを入力する。
- ② 施設の利用申し込みがあった場合、貸し出し状況を調べ、空きがあれば施設利用表に入力する。貸し出し時間は8時から20時の間で、1時間単位で貸し出す。
- ③ 施設表の基本料金は、施設利用1時間分の料金である。

### 利用者表

利用者コード	利用者名	住所	電話番号
R00001	尾崎 ○○	○○市◎◎1-3-10	XXX-XXXX-XXXX
R00002	平山 ○○	○○市△△1-3-15	XXX-XXX-XXXX
R00003	遠藤 ○○○	○○市□×2-3-38	XXX-XXX-XXXX
R00004	森田 ○○	○○市□3-2-1204	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}
R02001	千葉 ○○	○○市△×2-5-10	XXX-XXXX-XXXX
R02002	川部 ○○	○○市○○2-5-1108	XXX-XXX-XXXX
R02003	稲垣 ○	△△市◎区○2-2-7	XXX-XXXX-XXXX
R02004	加藤 ○○	○○市○-22	XXX-XXX-XXXX
}	}	}	}

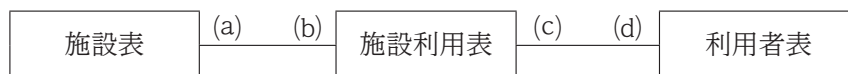
### 施設表

施設コード	施設名	基本料金
AR1	アリーナ1	3600
AR2	アリーナ2	1200
BA	野球場	6800
FR	サッカー・ラグビー場	1600
TN1	テニスコート1	800
TN2	テニスコート2	800
TN3	テニスコート3	800
TN4	テニスコート4	800
TT1	卓球台1	150
TT2	卓球台2	150
TT3	卓球台3	150
TT4	卓球台4	150
TT5	卓球台5	150
TT6	卓球台6	150

### 施設利用表

利用日	施設コード	利用者コード	開始時刻	利用時間
2023/04/01	TN3	R00211	15	3
2023/04/01	TN2	R01523	10	2
}	}	}	}	}
2023/08/23	AR2	R01164	9	6
2023/08/23	FR	R01478	12	8
}	}	}	}	}
2023/09/01	AR2	R01164	12	1
2023/09/01	BA	R01131	8	12
}	}	}	}	}

- 問1. 次の図は、三つの表のリレーションシップを表したE-R図である。(a)~(d)は、データの多重度を表すため、1 または 多 を示す。(a)~(d)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。



- ア. (a) 1      (b) 多      (c) 多      (d) 1  
 イ. (a) 多      (b) 1      (c) 多      (d) 1  
 ウ. (a) 1      (b) 多      (c) 1      (d) 多

- 問2. 新規の利用希望者のデータを利用者表に追加する。実行するSQL文の空欄(a), (b)をうめなさい。

[新規利用希望者] 利用者コード：R02145      利用者名：宮原 ○○  
 住所：□□市△△6-24      電話番号：XXX-XXX-XXXX

□□(a) □□(b) 利用者表 VALUES ('R02145', '宮原 ○○', '□□市△△6-24', 'XXX-XXX-XXXX')

問3. 2023年7月中における、野球場を利用した利用者名、住所、電話番号を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 利用者名, 住所, 電話番号
FROM 利用者表
WHERE 利用者コード [ ] (SELECT 利用者コード
FROM 施設利用表
WHERE 施設コード = 'BA'
AND 利用日 BETWEEN '2023/07/01' AND '2023/07/31')
```

利用者名	住所	電話番号
前田 ○○	○○市○1-3-4	XXX-XXX-XXXX
高橋 ○○	○○市□2-2-22××6	XXX-XXXX-XXXX
永井 ○○	○○市◎○3-14-6	XXX-XXX-XXXX
}	}	}

ア. EXISTS

イ. IN

ウ. OR

問4. 2023年8月23日のアリーナの利用申し込みがあり、利用日、施設名、開始時刻、終了時刻を抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

```
SELECT 利用日, 施設名, 開始時刻, 開始時刻 + 利用時間 AS 終了時刻
FROM 施設表 A, 施設利用表 B
WHERE A.施設コード = B.施設コード
AND 利用日 = '2023/08/23'
AND B.施設コード [ ] 'AR%'
```

利用日	施設名	開始時刻	終了時刻
2023/08/23	アリーナ1	9	12
2023/08/23	アリーナ1	13	18
2023/08/23	アリーナ2	9	15
2023/08/23	アリーナ2	16	20

問5. 2023年8月中における、利用者コードと施設コードごとの利用件数を集計し、利用件数が5件以上の利用者コードと施設コードを利用件数の降順に並べ替えた。次のSQL文の空欄(a)~(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 利用者コード, 施設コード, COUNT(*) AS 利用件数
FROM 施設利用表
WHERE 利用日 BETWEEN '2023/08/01' AND '2023/08/31'
[ ] (a)
[ ] (b)
[ ] (c)
```

利用者コード	施設コード	利用件数
R01783	TN1	8
R00881	AR1	7
}	}	}
R00919	BA	6
R01467	TT1	5

ア. HAVING COUNT(\*) &gt;= 5

イ. GROUP BY 利用者コード, 施設コード

ウ. ORDER BY COUNT(\*) DESC

## 【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、あるフィットネスクラブの1か月における利用回数一覧表である。F列には、「平均値」「中央値」「最頻値」を求める。F5に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (C4:C13)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	利用回数一覧表					
3	会員番号	名前	利用回数			
4	1	青山〇〇	10			平均値 11.9
5	2	上野〇	15			中央値 9.5
6	3	上川〇〇	20			最頻値 9
7	4	木村〇〇	5			
8	5	児島〇〇	9			
9	6	佐々木〇〇	9			
10	7	鈴木〇〇	7			
11	8	瀬尾〇〇	9			
12	9	立花〇〇〇	15			
13	10	津川〇〇	20			

ア. SUMIFS

イ. MODE

ウ. MEDIAN

問2. 次の表は、スマートフォン利用時間と平均利用時間である。平均利用時間(分)は、利用時間調査表の「利用時間(分)」の平均を、「性別」「区分」ごとに求め、整数未満を四捨五入して表示する。G4に設定する次の式の空欄(a)、(b)をうめなさい。ただし、この式をI5までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2	利用時間調査表					平均利用時間(分)				
3	番号	性別	区分	利用時間(分)		性別\区分	小学生	中学生	高校生	
4	1	女	小学生	70		男	83	117	120	
5	2	男	中学生	120		女	73	127	144	
6	3	女	中学生	110						
7	4	女	小学生	50						
8	5	女	小学生	50						
9	6	男	高校生	100						
10	7	男	高校生	150						
11	8	女	高校生	100						
12	9	男	小学生	70						
13	10	女	高校生	110						
14	11	男	中学生	110						
15	12	男	小学生	70						
16	13	女	高校生	220						
17	14	女	中学生	170						
18	15	男	小学生	70						
19	16	男	高校生	100						
20	17	女	高校生	110						
21	18	女	小学生	120						
22	19	男	高校生	70						
23	20	女	高校生	130						
24	21	男	小学生	60						
25	22	男	中学生	120						

=ROUND(AVERAGEIFS(\$D\$4:\$D\$225,\$B\$4:\$B\$225,(a), \$C\$4:\$C\$225,(b)),0)

問3. 次の表は、所属名称変更表である。「旧所属名」を「新所属名」のように変換して設定する。C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC9までコピーする。

	A	B	C
1			
2	所属名称変更表		
3	所属番号	旧所属名	新所属名
4	1	営業課営業一係	営業部営業一課
5	2	営業課営業二係	営業部営業二課
6	3	情報課システム係	情報部システム課
7	4	情報課セキュリティ係	情報部セキュリティ課
8	5	人事課人事係	人事部人事課
9	6	経理課経理係	経理部経理課

ア. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4,"課","部"),"係","課")

イ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4,"部","課"),"課","係")

ウ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4,"係","部"),"部","課")



問4. 次の表は、名簿を利用した班分け表である。表のように名簿の「名前」を図のように左側から4班構成で並べて表示する。D4に設定する次の式の空欄(a), (b)をうめなさい。ただし、この式をG11までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	名簿		班分け表				
3	番号	名前		第1班	第2班	第3班	第4班
4	1	安達〇〇		安達〇〇	池山〇〇	石居〇〇	石里〇〇
5	2	池山〇〇		内山〇〇〇	大垣〇〇	大沢〇〇	大竹〇〇〇
6	3	石居〇〇		落合〇	亀山〇〇	川俣〇〇	川村〇〇
7	4	石里〇〇		小海〇〇〇	香田〇〇	小島〇〇	小平〇〇
8	5	内山〇〇〇		小和田〇〇	齋藤〇〇	篠崎〇〇	鈴木〇〇
9	6	大垣〇〇		高島〇〇	滝川〇〇	巽〇〇	富島〇〇
10	7	大沢〇〇		藤田〇	星川〇〇	本田〇〇	前田〇〇
11	8	大竹〇〇〇		間下〇〇	松木〇〇	三田〇〇	渡辺〇
12	9	落合〇					
13	10	亀山〇〇					
14	11	川俣〇〇					
15	12	川村〇〇					
16	13	小海〇〇〇					
17	14	香田〇〇					
18	15	小島〇〇					
19	16	小平〇〇					
20	17	小和田〇〇					
21	18	齋藤〇〇					
22	19	篠崎〇〇					
23	20	鈴木〇〇					
24	21	高島〇〇					
25	22	滝川〇〇					
26	23	巽〇〇					
27	24	富島〇〇					
28	25	藤田〇					
29	26	星川〇〇					
30	27	本田〇〇					
31	28	前田〇〇					
32	29	間下〇〇					
33	30	松木〇〇					
34	31	三田〇〇					
35	32	渡辺〇					

=VLOOKUP((COLUMN()-3)+( (a) )-(4))\* (b) , \$A\$4:\$B\$35, 2, FALSE)

問5. 次の表は、シェアサイクルの利用料金一覧表である。「利用時間」は「返却時刻」から「利用開始時刻」を引いて、15分単位で切り上げて求め、「利用料金」は「利用時間」に「15分単価」を掛けて求める。F4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	利用料金一覧表						
3	車両番号	種別	15分単価	利用開始時刻	返却時刻	利用時間	利用料金
4	1	電動	50	11:51	15:20	3:30	700
5	2	電動S	100	10:12	13:55	3:45	1,500
6	3	電動	50	10:59	13:25	2:30	500
7	4	電動S	100	9:05	9:15	0:15	100
8	5	電動	50	13:22	16:47	3:30	700
9	6	電動	50	14:36	17:41	3:15	650
10	7	電動S	100	10:12	13:41	3:30	1,400

ア. =FLOOR(E4-D4, TIME(0, 15, 0))

イ. =CEILING(E4-D4, TIME(0, 15, 0))

ウ. =CEILING(E4-D4, 15)

【7】 次の表は、あるビジネスホテルの宿泊料金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「宿泊料金計算書」

	A	B	C	D	E
1					
2		宿泊料金計算書			
3					
4			受 付 日		2023/9/1
5	1.	宿泊予約			
6		入力欄		確認欄	
7		チェックイン	2023/10/10		OK
8		泊 数	2	チェックアウト	2023/10/12
9		客室コード	TW		OK
10		人 数	2		OK
11					
12	2.	希望部屋検索結果			
13		客室タイプ	宿泊日	空き状況	客室料金
14		ツイン	2023/10/10	空室	18,000
15			2023/10/11	空室	18,000
16					
17					
18					
19					予約可
20	3.	お食事			
21		食事コード	M1D1		OK
22				朝食 (ビュッフェ)	1,500
23				夕食 (ビュッフェ)	2,000
24	4.	料金計算			
25		客室料金計	36,000		
26		食事料金計	14,000		
27		定員外割増料金	0		
28		割引料金	1,500		
29		宿泊料金	48,500		

シート名「客室料金表」

	A	B	C	D	E
1					
2	通常料金表				
3	客室コード	客室タイプ	定員	客室料金	客室数
4	SI	シングル	1	8,000	18
5	DO	ダブル	2	12,000	6
6	TW	ツイン	2	18,000	12
7	FA	ファミリー	4	30,000	4
8					
9	週末料金表				
10	客室コード	客室タイプ	定員	客室料金	客室数
11	SI	シングル	1	10,000	18
12	DO	ダブル	2	14,000	6
13	TW	ツイン	2	22,000	12
14	FA	ファミリー	4	40,000	4

シート名「予約表」

	A	B
1		
2	予約表	
3	宿泊日	客室コード
4	2023/9/1	SI
5	}	}
214	2023/9/24	SI
215	2023/9/24	TW
216	2023/9/24	FA
217	2023/9/24	TW
18	}	}
970	2023/10/10	FA
971	2023/10/10	SI
972	2023/10/10	SI
973	2023/10/11	DO
974	2023/10/11	FA
19	}	}
1002		

シート名「食事表」

	A	B	C
1			
2	食事表		
3	食事コード	お食事	単価
4	M0	朝食なし	0
5	M1	朝食 (ビュッフェ)	1,500
6	D0	夕食なし	0
7	D1	夕食 (ビュッフェ)	2,000
8	D2	夕食 (ルームサービス)	2,500

## 作成条件

- シート名「宿泊料金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、宿泊料金を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
- 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が空欄または NG の場合、その次の入力項目以降の確認欄に何も表示しない。
- 「泊数」は、1泊から5泊までとする。
- 「人数」は、シート名「客室料金表」の「定員」に1名を加えた値まで予約することができる。
- 「空き状況」は、シート名「客室料金表」の「客室数」と、シート名「予約表」の予約状況から、空室または満室のいずれかを表示する。なお、「空き状況」に満室が1件もない場合、予約することができる。
- 「客室料金」は、1泊1室の料金であり、「宿泊日」の曜日が 金, 土, 日 の場合、「週末料金」、それ以外の曜日は「通常料金」とする。
- 「食事コード」は、シート名「食事表」の食事コードを、朝食コード、夕食コードの順で組み合わせて、次のように入力する。

例 M1D1 → M1 D1  
朝食コード 夕食コード

- 「定員外割増料金」は、補助ベッド等を利用して客室の「定員」に1名を加えた値で利用する場合、「客室料金計」に0.3を掛けた料金とする。
- 「割引料金」は、「チェックイン」の日が「受付日」の30日以降の場合、1,500円とし、それ以外は0円とする。
- シート名「予約表」は、予約を受け付けた後、滞在する日数分のデータが作成される。例えば、2023/10/10からツインで2泊する場合、「宿泊日」に2023/10/10, 2023/10/11が、「客室コード」に TW がそれぞれ作成される。なお、宿泊者の記録は別途行っている。

## 作成手順

- シート名「宿泊料金計算書」は、次のように作成されている。
  - E4は、本日の日付を自動表示するための関数が設定されている。
  - C7は、「チェックイン」の日を入力する。また、E7は、「チェックイン」の日が「受付日」以降である場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
  - C8は、「泊数」を入力する。また、E8は、「チェックイン」の日に「泊数」を加えた日を表示する。
  - C9は、「客室コード」を入力する。また、E9は、入力された「客室コード」がシート名「客室料金表」にある場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
  - C10は、「人数」を入力する。また、E10は、作成条件4を満たしていない場合、NG を表示する。
  - B14は、C9をもとに、シート名「客室料金表」を参照し、「客室タイプ」を表示する。
  - C14~C18は、「チェックイン」の日と「泊数」から、「宿泊日」を表示する。
  - D14~D18は、C9に入力された「客室コード」をもとに、作成条件5にしたがって、空室 または 満室 を表示する。
  - E14~E18は、対応するD列が 空室 の場合、C14~C18の「宿泊日」をもとに、シート名「客室料金表」を参照し、作成条件6にしたがって、「客室料金」を表示する。ただし、D列が 満室 の場合、何も表示しない。
  - E19は、「空き状況」がすべて 空室 の場合、予約可 と表示し、それ以外の場合、予約不可 と表示する。
  - C21は、作成条件7にしたがって、「食事コード」を入力する。また、E21は、「食事コード」が作成条件7にしたがって入力されている場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
  - D22は、C21に入力された「食事コード」の左端から2文字分をもとに、シート名「食事表」を参照し、「お食事」を表示する。また、E22も同様に、シート名「食事表」を参照し、「単価」を表示する。
  - D23は、C21に入力された「食事コード」の右端から2文字分をもとに、シート名「食事表」を参照し、「お食事」を表示する。また、E23も同様に、シート名「食事表」を参照し、「単価」を表示する。
  - C25は、E14~E18を合計して「客室料金計」を求める。
  - C26は、E22とE23を合計したものに、C8とC10を掛けて「食事料金計」を求める。
  - C27は、作成条件8にしたがって、「定員外割増料金」を求める。
  - C28は、作成条件9にしたがって、「割引料金」を求める。
  - C29は、C25からC27の合計から、C28を引いて求める。

「問題を読みやすくするために、  
このページは空白にしてあります。」

問1. シート名「宿泊料金計算書」のE8に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(E7="",E7="NG",C8=""), "", IF( ))

- ア. OR(C8>=1,C8<5),"NG",C7+C8      イ. AND(C8>=1,C8<=5),C7+C8,"NG"      ウ. AND(C8>=1,C8<=5),"OK",C7+C8

問2. シート名「宿泊料金計算書」のE9に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(E8="",E8="NG",C9=""), "", IF(IFERROR( (a) (C9,客室料金表!A4:A7,0),0) (b) ,"OK", "NG"))

- ア. (a) VLOOKUP      (b) =1      イ. (a) MATCH      (b) <1      ウ. (a) MATCH      (b) >=1

問3. シート名「宿泊料金計算書」のD14に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD18までコピーする。

=IF(C14="", "", IF(INDEX((客室料金表!\$A\$4:\$E\$7,客室料金表!\$A\$11:\$E\$14), MATCH(\$C\$9,客室料金表!\$A\$4:\$A\$7,0), (a) , IF(WEEKDAY(C14,2)<5,1,2)) - (b) (予約表!\$A\$4:\$A\$1002,C14,予約表!\$B\$4:\$B\$1002,\$C\$9)>0,"空室","満室"))

(注) WEEKDAY関数の第2引数が2の場合、戻り値として、1(月曜日)～7(日曜日)を返す。

- ア. 5      イ. 2      ウ. MIN  
エ. 1      オ. INDEX      カ. COUNTIFS

問4. シート名「宿泊料金計算書」のE21には次の式が設定されている。この式と同等の結果を表示する式の空欄をうめなさい。ただし、空欄には同じものが入る。

=IF(OR(E19="",E19="予約不可",C21=""), "", IFERROR(IF(AND(LEFT(C21,1)="M",MID(C21,3,1)="D", VALUE(MID(C21,2,1))<=1,VALUE(RIGHT(C21,1))<=2,LEN(C21)=4), "OK", "NG"), "NG"))

同等の結果を表示する式。

=IF(OR(E19="",E19="予約不可",C21=""), "", IFERROR(IF(AND( ( ) ("M",C21)=1, ( ) ("D",C21)=3,VALUE(MID(C21,2,1))<=1,VALUE(RIGHT(C21,1))<=2,LEN(C21)=4), "OK", "NG"), "NG"))

問5. シート名「宿泊料金計算書」が次のように表示されているとき、C29に表示される適切なものを選び、記号で答えなさい。  
なお、2023年9月29日は金曜日である。

- ア. 124,000  
イ. 142,500  
ウ. 144,000

	A	B	C	D	E
1	宿泊料金計算書				
2					
3	受 付 日				
4	2023/9/1				
5	1. 宿泊予約				
6	入力欄			確認欄	
7	チェックイン	2023/9/29			OK
8	泊 数	2	チェックアウト		2023/10/1
9	客室コード	FA			OK
10	人 数	5			OK
11					
12	2. 希望部屋検索結果				
13	客室タイプ	宿泊日	空き状況	客室料金	
14	※	2023/9/29	空室	※	
15		2023/9/30	空室	※	
16					
17					
18					
19				予約可	
20	3. お食事				
21	食事コード	MID2			OK
22			※		※
23			※		※
24	4. 料金計算				
25	客室料金計		※		
26	食事料金計		※		
27	定員外割増料金		※		
28	割引料金		※		
29	宿泊料金		※		

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和5年9月24日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 令和5年度(第69回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

## 解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					dpi

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4		問5
				名称	図	

【5】	問1	問2		問3	問4	問5		
		(a)				(a)	(b)	(c)
		(b)						

小計	
----	--

【6】	問1	問2		問3	問4		問5
		(a)			(a)		
		(b)			(b)		

【7】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和5年9月24日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 令和5年度(第69回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

## 審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	コ	シ	エ	ウ	オ

【2】	1	2	3	4	5
	イ	カ	ケ	ア	キ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	イ	ア	イ	600 dpi

各2点  
15問

小計

30

【4】	問1	問2	問3	問4		問5
				名称	図	
	イ	ア	ウ	ウ	ア	ウ

【5】	問1	問2	問3	問4	問5		
					(a)	(b)	(c)
	ア	(a) INSERT (b) INTO	イ	LIKE	イ	ア	ウ

各3点  
10問

小計

30

【6】	問1	問2	問3	問4		問5
		(a)		(a)		
	ウ	\$F4 G\$3	ア	ROW 4		イ

【7】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		
	イ	ウ	ア	カ	SEARCH (別解 FIND)	ウ

- ※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
- ※ 記述問題の大文字、小文字は問わない。

各4点  
10問

小計

40

得点合計

100